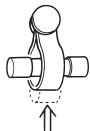


サイズ	頁数	印刷種類	刷り色	製本要領
A4	6	オフ刷り	スミ色	ミツ折り

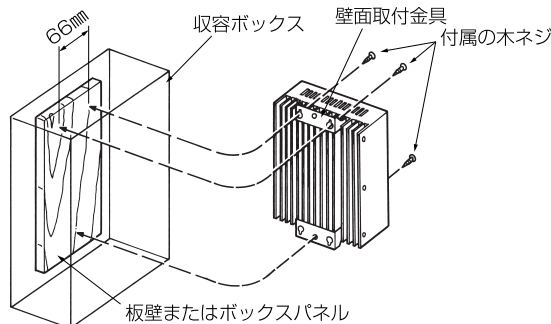
部品コード：2601298103

予備ヒューズのはずし方

- 予備ヒューズの取りはずしは右図のように折り曲げ部を押し、ホルダ部を広げて、取りはずしてください。
- ヒューズ交換時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ヒューズは耐ラッシュ型(125V T3A(3A))を使用してください。



取付方法

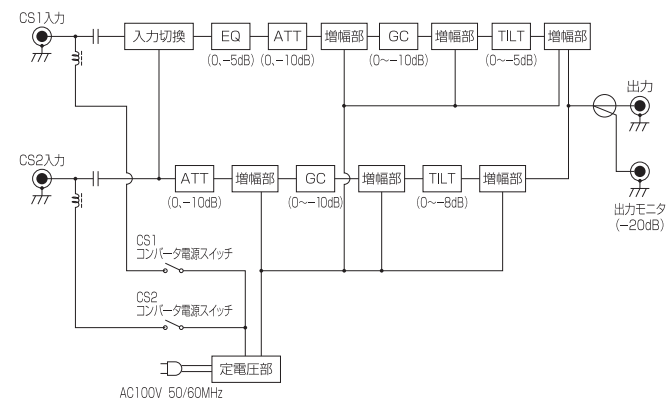


- 図のように板壁または收容ボックスのパネル板に壁面取付金具を付属の木ネジ2本で取り付けてください。次に残りの木ネジ1本で増幅器の下側を固定し、しっかりと取り付けてください。
- 收容ボックスは放熱を施した外形寸法600×800×250mm以上のものを使用してください。
- 天井や熱のこもる場所への取り付けは避け、必ず入出力端子が下向きになるように増幅器本体を取り付けてください。他の方向に取り付けると放熱効果が失われ、性能が維持できなくなる場合があります。

使用上のご注意

- 出荷時には、各入力ATTスイッチ、CS1入力EQスイッチ、各利得調整ボリュームはすべて最小、各TILT調整ボリュームは減衰となっていますのでレベル調整時に操作してください。また、入力切換スイッチは別入力側、コンバータ電源スイッチは切になっています。
- 出力モニタは出力レベルから20dB低い値を示しますが、出力端子がケーブルで接続されていないと正確な値を示しません。また、出力モニタは1050～2150MHzで±2dBの誤差があるので、より正確なレベル測定を行う場合、出力端子を使用してください。
- 増幅器本体のアース端子を接地してください。
- 放熱性に富むアルミ合金製シャーシを採用していますので、筐体が熱を持ちますが異常ではありません。
- カスケード接続で使用される場合は定格出力レベルより下げて使用してください。またカスケード台数はなるべく2台以内にしてください。
- ヒューズは耐ラッシュ型(125V T3A(3A))を使用してください。
- スイッチを切り換える場合、切換操作を数回行い、スイッチ接点部の活性化(クリーニング)をしてください。
- 入出力端子へのF形接栓の接続は、接続ナットを2N・mで締め付けてください。(2N・mを越えるトルクでは締め付けてください。)

ブロックダイアグラム



規格特性

品名	共同受信用増幅器	
品番	YCC-502A	
使用帯域	CS1	CS2
使用周波数(MHz)	70～820	1050～2150
標準利得(dB)	35	35/40
利得調整範囲(dB)	0～-10以上(連続可変)	0～-10以上(連続可変)
入力ATT(dB)	0、-10(スイッチ切換)	0、-10(スイッチ切換)
入力EQ(dB)	-5(70MHz値、スイッチ切換)	-
TILT(dB)	0～-5以上(70MHz値、連続可変)	0～-8以上(1050MHz値、連続可変)
適正入力レベル範囲(dBμV)	48～75(85)	48～75(85)
定格出力(dBμV)	110	110/115
雑音指数(dB)	10以下	10以下
VSWR	2.0以下	2.5以下
入カインピーダンス(Ω)	75	75
出カインピーダンス(Ω)	75	
耐衝撃波試験(kV)	±15(1.2/50μs)	
使用温度範囲(℃)	-10～+40	
電源	AC100V(50V/60Hz)23W(コンバータ用電源送時34W)	
外形寸法(mm)	190(H)×184(W)×70(D)	
質量(kg)	1.6	

()内の数値は入力アッテネータ最大時のときの値です。規格は改良により、変更させていただきますので、あらかじめご了承ください。

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代) ・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代) ・三重出張所 TEL.(059)226-1643(代) ・高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)
 ・旭川出張所 TEL.(0166)37-5830(代) ・茨城営業所 TEL.(029)926-5341(代) ・金沢支店 TEL.(076)261-9989(代) ・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
 ・東北支店 TEL.(022)242-2141(代) ・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代) ・富士営業所 TEL.(076)422-7878(代) ・山陰出張所 TEL.(0853)24-2343(代)
 ・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581(代) ・木更津出張所 TEL.(0438)23-6281(代) ・大塚支店 TEL.(06)6304-5651(代) ・福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)
 ・郡山出張所 TEL.(024)921-7131(代) ・柏出張所 TEL.(04)7192-1681(代) ・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代) ・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
 ・東京支店 TEL.(03)3526-5402(代) ・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代) ・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代) ・長崎出張所 TEL.(095)842-0780(代)
 ・多摩営業所 TEL.(042)572-4911(代) ・浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代) ・神戸支店 TEL.(078)579-8550(代) ・大分営業所 TEL.(097)504-7799(代)
 ・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代) ・中部支店 TEL.(052)919-8531(代) ・姫路出張所 TEL.(079)283-5920(代) ・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
 ・厚木出張所 TEL.(046)225-6102(代) ・松本営業所 TEL.(0263)27-7801(代) ・広島支店 TEL.(082)237-5331(代) ・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代)
 ・埼玉支店 TEL.(048)652-3311(代) ・豊橋出張所 TEL.(0532)69-2370(代) ・岡山出張所 TEL.(086)245-2948(代) ・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)
 ・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京支社/〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目11番5号 船井ビル TEL.(03)3526-6327(代)
 カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00(土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く)
 ホームページアドレス http://www.dxantenna.co.jp/

3838-3

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

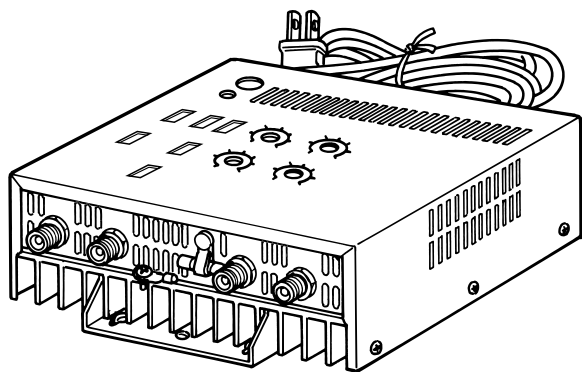
DIGITAL

共同受信用増幅器

電源内蔵(AC100V)形 屋内用

YCC-502A

(新2軸 伝送システム専用)



製品の特長

- スカイパーフェクTV!信号の2軸伝送用の増幅器で、CS1・110dBμV(16波)、CS2・110/115dBμV(28波)の高出力を実現しています。
- 各帯域別に入力アッテネータと利得調整ボリューム、TILT調整ボリュームの内蔵により、さまざまな規模のシステムに対応できます。
- 誘導雷避雷回路内蔵で、高周波増幅回路・電源回路ともに安心です。また、±15kV・1.2/50μsのサージ電圧に対しても優れた保護性能を発揮します。
- 増幅器の小形、高性能化を実現し、アルミ合金製シャーシの採用により放熱効果に優れ、電波漏洩対策も万全です。

安全上のご注意

	△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。
	○記号の場合は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- テレビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。
- 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- この製品は屋内専用です。この製品を屋外に設置したり、風呂場や洗い場など水がかかる場所や、水などの入った容器の近くなどに設置しないでください。火災・感電の原因となります。
- 万一内部に水などが入った場合は、まずこの製品の電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

- この製品に接続する同軸ケーブルには、テレビ電波以外に電流が流れることがあります。電源コードや同軸ケーブルなどを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、(熱器具に近づけたり)引っぱったりしないでください。火災・感電の原因となります。電源コードや同軸ケーブルなどが傷んだときは(心線の露出、断線など)お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電などの原因となります。

- この製品を調理台や加湿器のそばなど高温になる場所、油煙や湯気が当たるような場所に設置しないでください。火災や破損の原因となります。

- 強度の弱い場所、不安定な場所、ぐらいついたり振動する場所や傾いた場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

- 高所などに設置する場合は、足場と安全を確保して行なってください。落ちたり、すべったりしてけがの原因となります。

- この製品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

- この製品のケースを開けたり、分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。

- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにこの製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。煙がでなくなるのを確認して販売店もしくは工事店に修理をご依頼ください。

- この製品の本体を引っ張り強さ0.39kN以上の金属線または直径1.6mm以上の軟鋼線で接地してください。接地しないと避雷や保護接地の効果がなくなり、火災や故障の原因となります。

- 取り付けネジや接栓の締め付け力(トルク)に指定がある場合は、その力(トルク)で締め付け、堅固に取り付け固定してください。堅固に取り付けられなければ、落下や破損して、感電やけがや故障の原因となります。

- 雷が鳴り出したら、この製品には触れないでください。感電の原因となります。

注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となります。
- この製品の開口部(通風孔など)をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 直射日光の当たる所や、湿度の高い所に置かないでください。内部の温度が上がリ、火災の原因となることがあります。

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



- ヒューズは容量および形状・規格の違うものを使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



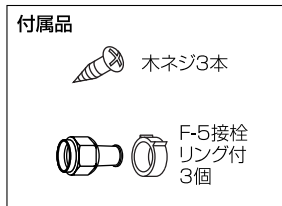
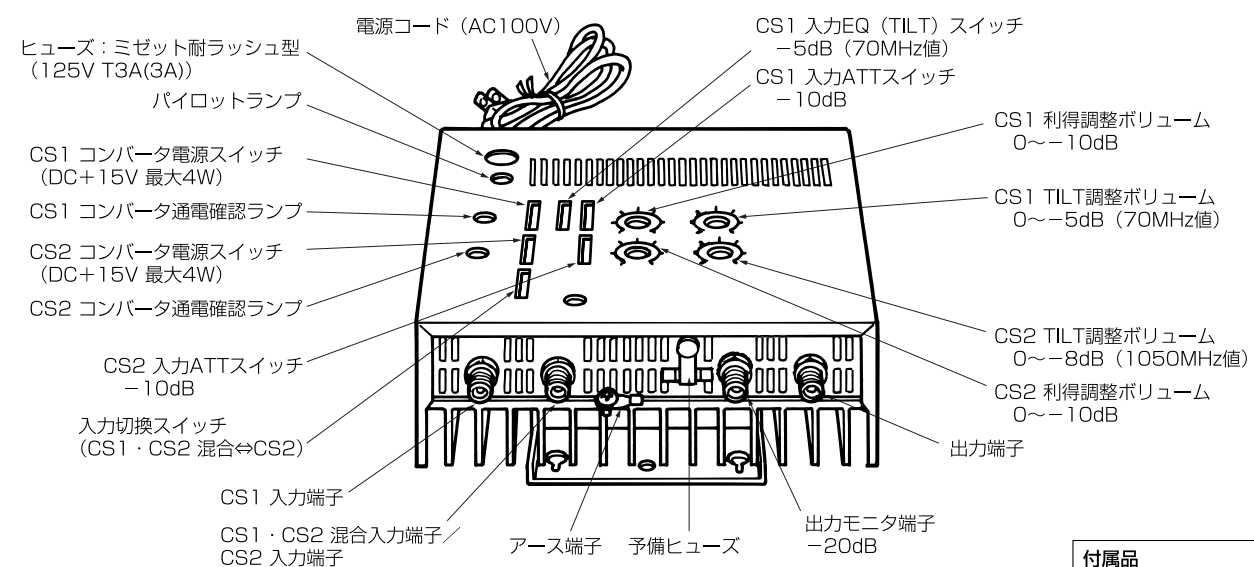
- お手入れの際には、ベンジン・アルコール・シンナーなどは使わないでください。塗装がはげたり、変質することがあります。お手入れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学雑巾を使用する際には、その注意書に従ってください。



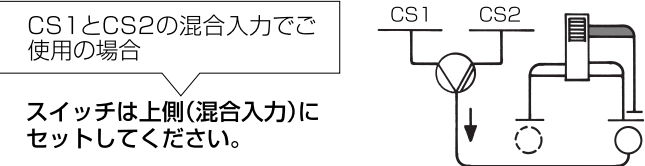
お取扱いの前に

- 設置作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください。
- この製品を屋外に設置する場合は、必ず防水・防雨ならびに放熱処理を施した収容箱などに収容してください。
- 増幅器を落としたり、ぶつけたりしないよう注意してください。
- 取り付けに用いる以外のネジを回したり、製品本体のカバーを開けて回路部品に手を触れたりしないでください。
- 電源を供給する前にアース端子を引っ張り強さ0.39kN以上の金属線または直径1.6mm以上の軟銅線で必ず接地してください。
- この製品はCSコンバータ用電源（DC+15V 4W）を供給できます。コンバータ電源のスイッチを入れる前に同軸ケーブルや接栓が正しく接続されていること、心線と編組線が接触していないことを確認してください。
- ヒューズが切れた時は、原因を確かめてから予備ヒューズと交換してください。ヒューズ交換時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用時、増幅器に異常が生じた場合は、ただちに電源の供給を止め、原因を確かめてください。
- 電源の供給は、すべての同軸ケーブルが完全に接続されていることを確認した後に行ってください。

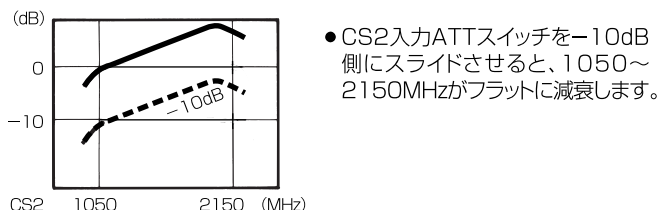
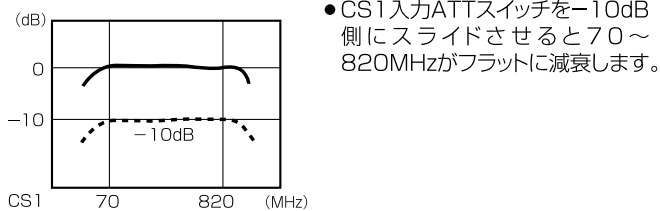
各部の名称



入力切換スイッチの操作

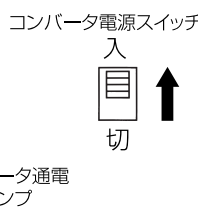


ATTスイッチの操作

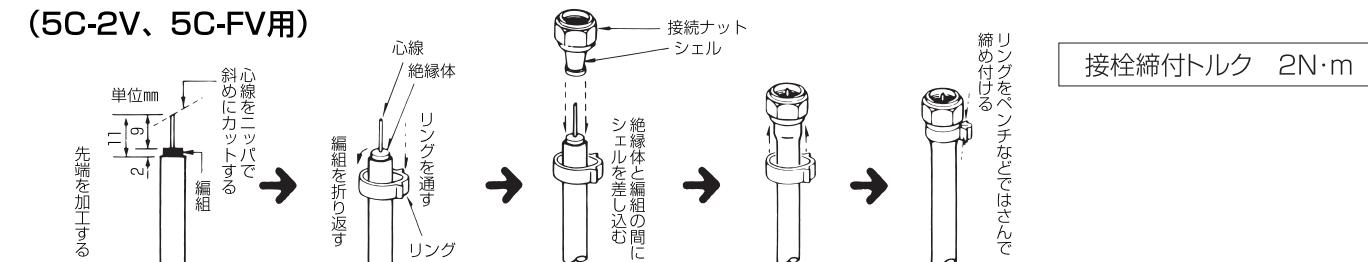


CSコンバータ電源スイッチの操作

- この製品からCSコンバータ用電源 (DC+15V最大4W) を供給する場合は、コンバータ電源スイッチを“入”にしてください。
- 電源の供給はCSコンバータへのケーブルの接続を確認した後に行ってください。
- 重畳ラインの機器は必ず電流通過形をご使用ください。
- CSコンバータを重畳電源で動作させる以外の場合に通電しますと事故の原因となりますのでご注意ください。
- 入力端子側でショートしている場合、コンバータ通電確認ランプが消え、増幅器が動作しなくなります。CSコンバータ電源スイッチを“切”にして、入力端子側のショート箇所を取り除いてください。故障の原因となります。

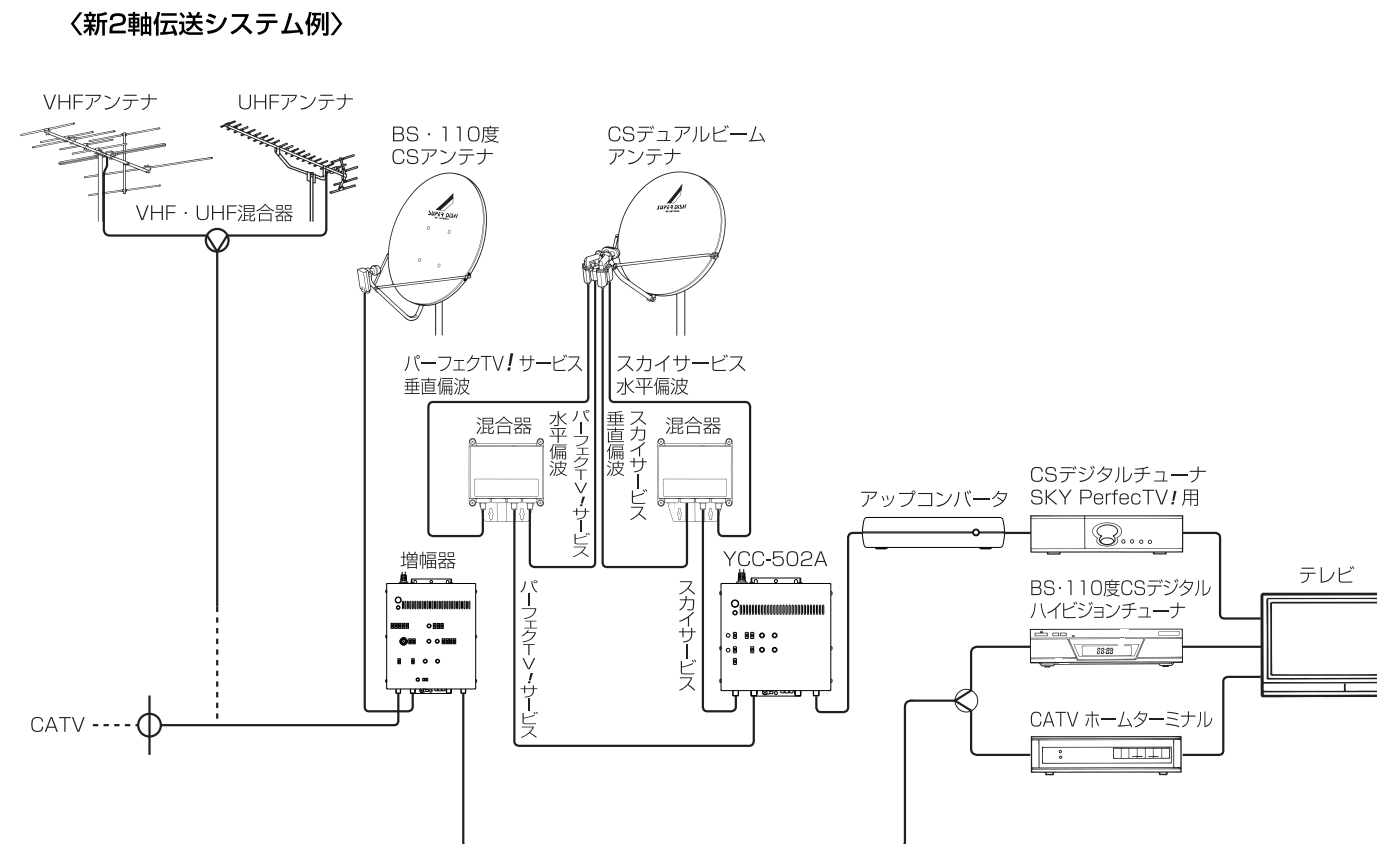


F-5接栓 (付属品) への同軸ケーブルの接続方法



- CS/BS-IF帯の電波を効率よく伝達するため、同軸ケーブルは高品質の5C-FVS、S-5C-FBなどのご使用をおすすめします。(この場合、必ず使用する同軸ケーブルに適した別売の接栓をご使用ください。)
- 同軸ケーブルの先端を加工する場合、心線・編組に傷をつけたり上記加工以外の加工をすると断線やショート、機器の破損の原因となりますのでご注意ください。また心線と編組は、絶対に接触しないようご注意ください。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。
- 設置した後で抜けたりしないように、同軸ケーブルのリングはしっかりと締めてください。
- この製品へのF形接栓の接続は、接続ナットを2N・mで締め付けてください。(2N・m以上では締め付けしないでください。)
- この製品に取り付ける同軸ケーブルの心線径が0.8mmより太い場合は、必ずコンタクトピン付き接栓をご使用ください。
- 接続する同軸ケーブルの接栓の取り付けは、その同軸ケーブル専用の接栓を説明書通り加工してご使用ください。特殊な加工をしたものを使用すると特性の悪化や機器の破損につながります。

使用例



調整方法

調整する前にスペクトラムアナライザ(電界強度測定器など)で各入力レベルを測定し、過大な入力レベルとならないことを確認します。

〈CS1の調整〉

1. スペクトラムアナライザ(電界強度測定器など)を出力モニター端子に接続します。
2. レベルを測定し、定格出力レベルになるように、入力ATTスイッチ、入力EQスイッチ、TILT調整ボリュームおよび利得調整ボリュームで調整します。

〈CS2の調整〉

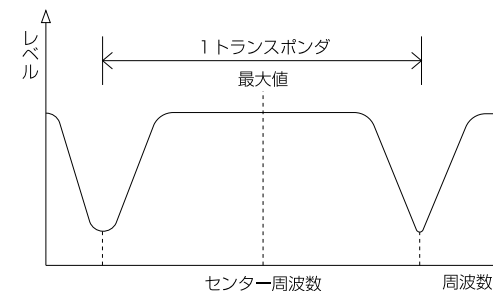
1. スペクトラムアナライザ(電界強度測定器など)を出力モニター端子に接続します。
2. レベルを測定し、定格出力レベルになるように、入力ATTスイッチ、TILT調整ボリュームおよび利得調整ボリュームで調整します。
※出力モニター端子は出力レベルが520dB低い値を示します。従って、測定値に20dBを加えた値が真のレベルです。

簡易デジタル信号レベル確認方法

- デジタル信号レベルの確認は、デジタル対応のレベルチェッカーまたは、チャンネルパワーの測定できるスペクトラムアナライザで測定確認してください。
- チャンネルパワー等の機能のないスペクトラムアナライザでデジタル信号を測定する場合は、それぞれ次の測定方法により確認してください。

- ①スペクトラムアナライザのセンター周波数を測定する信号 (1トランスポンダ) の中央に合わせます。
- ②スペクトラムアナライザを次のように設定します。
周波数スパン (SPAN) 50MHz
分解能帯域幅 (RBW) 1MHz
ビデオ帯域幅 (VBW) 300Hz
- ③信号の最大レベルをスペクトラムアナライザで測定します。
- ④測定したレベルに補正值(CSデジタル信号 15dB、BS・110度CSデジタル信号 16.3dB)を加えた値が、その信号のレベルとなります。
また、分解能帯域幅 (RBW) を100kHz、10kHzで測定したときの補正值は右表をご参照ください。

- 注1) 低いレベルのデジタル信号をスペクトラムアナライザで測定する場合には、ノイズの影響などで測定誤差が大きくなります。
- 注2) スペクトラムアナライザの機種によってわずかに補正值が異なる場合があります。



補正值	分解能帯域幅 (RBW)		
	1MHz	100kHz	10kHz
CSデジタル (dB)	15	25	35
BS・110度CSデジタル(dB)	16.3	26.3	36.3

RBWを変えたときの値が大きく異なる場合は、誤差が大きいと考えられます。